

新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和3年7月20日（火）

午前10時00分 開会

午後 0時10分 閉会

○ 場 所 第3常任委員会室

○ 出席委員（11名）

委員長	呉屋 等
委員	伊佐文貴
委員	上里広幸
委員	濱元朝晴
委員	知念秀明
委員	—

副委員長	伊佐哲雄
委員	又吉亮
委員	屋良千枝美
委員	宮城司
委員	桃原朗
委員	伊波一男

議長	上地安之
----	------

○ 欠席委員（1名）

委員	宮城力
----	-----

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（6名）

健康推進部次長	松本勝利
市民経済部次長	伊佐真
産業政策課長	新垣育子

企画部次長	泉川幹夫
財政課長	小橋川陽介
観光農水課長	本永貴也

○ 参考人（0名）

○ 議会事務局職員出席者（2名）

庶務課長	仲村厚子
------	------

主任主事	渡嘉敷真
------	------

○ 協議案件

新型コロナウイルスワクチンの接種状況及び各種支援策について

新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会 会議録（要旨）

令和3年7月20日（火）

○**呉屋等 委員長** ただいまから新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前10時00分）

【協議事項】

新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

○**呉屋等 委員長** ただいまより委員会を開会いたします。健康推進部より資料の説明を頂いてから質疑を行いたいと思います。

※健康推進部次長、資料の説明を行う。

○**伊佐文貴 委員** ただいま説明いただいた資料については、県の接種事業及び本市の集団接種、医療機関での個別接種の全てを含んだ数値と理解してよいか。

○**健康推進部次長** 全て含まれているが、VRSの読み込みが完了した数値となるため、タイムラグが生じる場合もある。

○**又吉亮 委員** 高齢者の2回目接種は7月で完了すると理解してよいか。

○**健康推進部次長** 7月末までの完了を目指している。1回目の副反応で2回目を受けない可能性もあるとは考えている。

○**又吉亮 委員** 高齢者の接種率について、1回目は77.45%であるが、2回目は7月15日時点で43.2%となっている。1回目の接種率にどれくらい近づけるのか、見込みがあれば伺いたい。

○**健康推進部次長** 接種を受付するシステムと接種記録を行うシステムがリンクしていないため、予約数から接種率を判断することは非常に困難である。8月から基礎疾患のある方の接種が開始されるため、高齢者の方の予約が取りづらくなることが想定されることから、周知活動を行っているところである。

○**又吉亮 委員** ワクチンの確保数について伺いたい。

○**健康推進部次長** VRSシステムを使って供給を依頼し、2週間に1回配分される。7月4日時点では12クール分のワクチンを確保しており、現状の接種スピードであれば9月末までの分は確保している状況である。しかし、個別接種として医療機関は現在1週間に2,000回程度接種しているが、その数が多くなれば期間が短くなる可能性も想定される。

- 又吉亮 委員 高齢者以外の方は9月末までにどの程度の接種率になる見込みか。
- 健康推進部次長 ワクチンの対象年齢が引き下げられたことや広域接種の拡充に加え、供給が不透明となっていることなどから正確な把握は難しい。
- 知念秀明 委員 キャンセルが出た場合の対応について伺いたい。
- 健康推進部次長 事前にキャンセルがあれば枠を他の方に充てるなど余剰分が発生しないように取り組んでいる。当日に急なキャンセルがあった場合で、余剰ワクチンが発生した場合は体育館の近くにいる職員や教育委員会等に勤務する職員に接種を行い、廃棄が生じないように取り組んでいる。
- 知念秀明 委員 ワクチンパスポートについて伺いたい。
- 健康推進部次長 国においては、7月26日から市町村で発行可能と発表されており、海外渡航の際に利用すると伺っている。
- 伊佐哲雄 委員 ひとり暮らしの高齢者などへの接種はどのように管理しているか。
- 健康推進部次長 自治会に声かけを依頼するなど周知に努めている。接種会場への移動等が難しい場合は身近な方を通して相談していただきたい。
- 伊佐哲雄 委員 宜野湾市の接種率について他市と比較して進捗が進んでいないように見受けられるが、どのように評価しているか。
- 健康推進部次長 県の平均値を鑑みながら接種率の向上に努めていきたい。データの反映のタイミングによってタイムラグも発生する。
- 伊佐哲雄 委員 接種率はどの程度向上する見込みか。
- 健康推進部次長 7月15日の全国市長会でもワクチン供給について提言がなされている。現在集団接種会場では水、木、日曜日以外にも接種日を増やす予定である。
- 上里広幸 委員 妊婦の接種を断った事例はあるか。
- 健康推進部次長 医師と相談の上、接種を取りやめる場合もあると考える。事例があるかは調べて後日報告させていただきたい。
- 上里広幸 委員 プロジェクトチームの体制について伺いたい。業務過多になっていないか。
- 健康推進部次長 12名の職員と3名の会計年度任用職員と教育委員会から2名の応援があり、対応している。通常業務に加え、水、木、日曜日に接種を行っているほか、個別接種の対応、高齢者施設 38 施設の接種確認、障害者施設の対応等を行っている。6月に60時間以上の残業をした職員は5名となっている。その中で1週間に2回の休暇を確保したいと考えており、ローテーションを行っている。
- 上里広幸 委員 体制の見直しは検討しているのか。
- 健康推進部次長 関係部署に状況を報告し、協議しながら対応してまいりたい。

○知念秀明 委員 年齢等の区分によっていつ頃から接種券を配布し、いつ頃から予約ができるかホームページ等で周知しているか。

○健康推進部次長 ホームページで発送や受付の時期について公表している。

○知念秀明 委員 いつどの年代が受けられるのかなどわかりやすい情報が見つけにくいため、わかりやすい情報を掲載していただきたい。

○又吉亮 委員 県の空き枠を活用して保育士等に接種を行ったが、7月12日以降も名簿を提出したのか。

○健康推進部次長 6月29日から7月9日まで接種を行った。県には空き枠がさらに発生しそうであれば、報告を頂きたい旨の依頼はしているが、現在のところ報告はない。

○呉屋等 委員長 休憩いたします。(11時10分)

○呉屋等 委員長 再開いたします。(11時20分)

○呉屋等 委員長 次に、各種支援策について担当部署から説明を聴取したい。

○市民経済部次長 これまでに行ってきた施策について概要を説明したい。令和2年度末までに地方創生臨時交付金を活用し、大きく3つの項目に分けて支援策を展開してきた。1つ目は給付金等を支給する給付支援、2つ目は業務を発注することなどの事業支援、3つ目は経営相談等を行う経営強化支援となっている。これまでに16事業、4億8,600万円の支援策を実施した。令和3年度については、5月臨時会でも提案したが、クーポン&キャッシュレス事業を商工会へ委託し、現在実施している。イベント業やレジャー事業者等に対する第3弾の宿泊業等支援助成金事業、のほか飲食店等の換気対策に係る高機能換気設備等導入支援事業等も進めている。昨年からの主な事業を紹介する。1つ目の給付支援事業については、レストラン等の飲食業、スナックなどの社交飲食業、宿泊業、バス等の交通事業、旅行業等への支援を行った。それらの対象とならなかった場合でも全業種を対象に売上げが30%以上減少している事業者へ支援金を交付している。2つ目の事業支援については、美ら海クリーン活動事業、宜野湾美ら海体験PR事業、お花でこころを華やかそう事業、素敵な旅立ちを彩るフラワー事業を実施している。3つ目の経営強化支援事業については、事業継続に向けた相談会の開催や国や県の支援策や融資の申請手続支援等を商工会へ委託して実施した。また、インターネット等を使って販路開拓を支援する事業も実施している。これら支援に対し、事業者からは評価も頂いていることから、一定の支援は行き届いているものと認識している。しかし、現在もコロナウイルスの感染状況は終息していない

状況であることから業種にかかわらず売上げが減少している状況であるため、引き続きの支援が必要であると考えている。

○伊佐文貴 委員 支援が必要という声はどのように拾っているのか。

○市民経済部次長 議員や会派等からの提言も踏まえ、市内の経済団体と情報交換等をしながら取り組んできた。

○伊佐文貴 委員 業種によって支援に差があるとの声もあるが、いかがか。

○市民経済部次長 業態によって額や回数、要件等に違いはあると考えるが、各業種とも最低1回は支援を行っていると考えている。

○伊佐文貴 委員 手続の問題ですぐに支援金が交付されないとの問題もあると伺った。広く多様な業種への支援もしっかり検討していただきたい。

○市民経済部次長 国や県の支援策は申請から給付まで2～3カ月を要するなどのお話を伺っている。昨年にかけて本市ではなるべく煩雑でなく、早期に給付金ができるよう内容を整理している。

○伊佐文貴 委員 プレミアム商品券の金種について伺いたい。

○産業政策課長 全て500円券で作成している。

○伊佐文貴 委員 お釣りは出ないと理解してよいか。

○産業政策課長 そのとおりである。

○伊佐文貴 委員 他市の事業について把握していれば伺いたい。

○産業政策課長 浦添市は一定以上の金額から券が利用できる制度になっていると伺った。それ以外はほとんど500円券となっていると伺った。

○又吉亮 委員 市民提案型事業助成金は今年も交付予定か。

○企画部次長 通常の50万円の枠に応募していただく形になり、昨年のように臨時交付金の活用は予定していない。

○又吉亮 委員 コロナ禍の影響によって地域課題を解決するという趣旨ではなくなると理解してよいか。

○企画部次長 そのとおりである。

○又吉亮 委員 昨年採択を受けた事業はどのように継続しているのか。

○企画部次長 確認して答弁したい。

○又吉亮 委員 継続していくためには自治会との関係があるものもあったため、市民経済部ともしっかり連携を取って市民提案型事業が今後も発展できるよう取り組んでいただきたい。

○呉屋等 委員 宿泊等助成事業について補正予算5,000万円のうちどの程度を執行見込みか。

○観光農水課長 既に事業を行っていない事業者等を差し引いた場合、本市における対象事業者は210～290業者と認識しており、約4,500万円程度は執行できるものと見込んでいる。

○呉屋等 委員 執行残が発生するようであれば、一般財源に戻すのではなく支援事業に回していただきたい。令和3年度の地方創生臨時交付金について国に要請されていると承知しているが、国はどういった動きになっているか把握しているか。

○財政課長 全国市長会、全国知事会などが6月に国に要請していることは把握しているが、国の動向までは把握できていない。

○又吉亮 委員 コロナの影響で廃業した企業数は把握しているか。

○産業政策課長 リサーチ会社に依頼したところ、倒産はなかったが、廃業は30件把握している。事業承継の問題もかかわっていると考える。コロナの影響があったかははっきり把握できていない。

○又吉亮 委員 商工会から事業承継に関して要望があったと認識しているが、現在の取組状況を伺いたい。

○産業政策課長 事業承継の問題は重要であると認識しているところであるが、喫緊のコロナ関連経済対策に優先的に取り組む必要がある。

○呉屋等 委員長 休憩いたします。(午後0時00分) ※当局退出

○呉屋等 委員長 再開いたします。(午後0時02分)

○呉屋等 委員長 ただいま支援策等について聴取を行ったが、さらなる支援策が必要であることや、ワクチンパスポート等新たな事業に対しても提言を行う必要があることから、政策提言の実施に向けて検討したいが、いかがか。

○上里広幸 委員 政策提言を行う場合のスケジュール資料について作成いただきたい。

○議会事務局 作成して提供してまいりたい。

○呉屋等 委員長 次回の委員会は7月28日(水)の午前10時から会議を開きたいと思えます。

○呉屋等 委員長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻 (午後0時10分)